

単元名 同じ ぶぶんを もつ かん字

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。
(3) 漢字の同じ部分を意識して、読んだり書いたりしようとする。

標準的な展開例

02010110_001

【教材名】同じ ぶぶんを もつ かん字 (上 P. 58～P. 59)

【準備等】漢字を書くカード

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 教科書 (P. 58)の挿絵を基に、漢字の同じ部分を探して、漢字の意味やつながりについて話し合う。 ★漢字のひみつを見付けよう。 ○教科書 (P. 58)の漢字を見て、同じ部分を探す。</p> <p>○漢字の同じ部分に気を付けながら、例文を声に出して読んだり、ノートに書いたりする。</p> <p>2 同じ部分をもつ漢字を探して、話し合って仲間分けをする。 ○同じ部分をもつ漢字を探し、ノートに書き出す。</p> <p>○見付けた漢字をカードに書き、漢字の仲間分けクイズをする。</p>	<p>・音読したりノートに書かせたりして、「木」が共通して書かれていることに気付かせる。</p> <p>・同じ部分を探させながらノートに書かせる。その際、同じ部分を赤などで色分けするとよい。</p> <p>【評】同じ部分の漢字を意識して書く活動を通して、既習漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりする「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書(P.148)の「これまでに ならったかん字」から探させる。</p> <p>・漢字を一文字ずつカードに書き、同じ部分をもつ漢字の仲間で分けるクイズをペアで出し合う。</p> <p>・一人でクイズを作らせることが難しい場合には、グループで作らせるなどの工夫をするとよい。</p> <p>【評】漢字クイズを作る活動を通して、漢字のつくりに興味をもって漢字を探したり、文章の中で使ったりする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】